

何が彼女をそうさせたか (1930)

メディア 映画

ジャンル 青春

製作国 日本

色彩 B&W

時間 110分

初公開日 1930/02/06

【解説】

藤森成吉による同名戯曲を原作に、鈴木重吉が脚色・監督した「傾向映画」の傑作。フィルムもボジも存在しないと思われていたが、1992年にロシアで上映プリントが見つかり修復・復元された。ただし肝心のラストシーンは残っておらず、字幕での説明のみとなっている。

貧しい家に生まれた少女すみ子は、父親の弟である叔父に引き取られるが、すぐに曲芸団（サーカス）に売り飛ばされてしまう。団長の小川に虐待され曲芸団を飛び出したすみ子はその後、様々な職を転々としながら辛い日々を送っていた。曲馬団で知り合い恋心を抱いた新太郎と再会し結ばれたもの、新太郎には仕事がなかった。生活はさらに苦しくなり、ついに二人は心中を図るのだったが…。

【クレジット】

監督 鈴木重吉

原作 藤森成吉

脚色 鈴木重吉

撮影 塚越成治

出演 高津慶子	中村すみ子
藤間林太郎	琵琶師長谷川旭光
小島洋々	阪本佐平
牧英勝	養育院人事院原
浜田格	曲芸団長小川鉄蔵
大野三郎	山下巡査部長
中村翫暁	質屋の主人
片岡好右衛門	玉井老人
海野龍人	市川新太郎
二條玉子	県会議員秋山秀子
園千枝子	山田の女房お定
尾崎静子	天使園主矢沢梅子
間英子	島村おかく